

2024 年 5 月 度 中 部 品 質 工 学 研 究 会 議 事 録

1. 開催日時2024/5/11 (土) 10:00～16:00
2. 開催場所ITEQ
3. 会員参加者<敬称略> S：オンサイト出席・L：オンライン出席、欠：欠席、書：書記、休：休会

大見	S	牧野	S	横尾	S	城越	S	伊藤	S	舟山	S	出島	S	前田	S
水田	S	山中	L	山口(展)	書	黒田	L	鈴木	S	池田	S	山口(直)	S	北村専務	L
小西	休	中山	休	李	休	河合	休	則尾	休	杉浦	休	三浦	休	福田	休

4. 研究会内容

1) 「輪講：基本機能ハンドブック 5章 加工機能 5-10~14」(牧野)

牧野より、基本機能ハンドブックの、第5章の10締結技術から、14射出成型までを紹介した。
それぞれの基本機能と、代表的な、入出力と機能図、誤差およびSN比の計算方法を記載した。
研究会なので、牧野の経験から、追加したほうが良い、入出力と機能を入れた。又、SN比の
計算式に自由度の記載がなかったので、事例より、実際の数値を入れたものを資料に追加した。

2) 「RQES2024発表内容検討」(前田、山口展)

発表のリハーサルや、資料の修正などを行った。

3) 「事務局連絡」

■秘密保持誓約書の書式更新完了

→未提出の会員は企業版または個人版のどちらかで提出し、
提出済みの会員については、再提出の要否は各自の判断とする。
用紙の取得・提出はSlackのリンクから行う。

■シンポジウム発表内容

→来月以降継続検討

■合宿の日程検討

→開催月は11月とし、日には参加者の予定を確認し、次回決定する。

■講演会招致

→芝野先生に山口直さんより打診

■関西合同研究会の内容振り返り

→"大局的（組織的）な視点の話題と、個別の技術的な内容、どちらも大事であるが、両者の比重はどうあるべきか？"
について議論した。やはり実務者の集まる会であるので、実務者として各企業内で実行する個別事例について技
術的知見を高める場としての意義を重要視すべきではないだろうか？との意見が多く挙がった。